

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)

【単独・連携事業】

市町名	那須町
-----	-----

(単位:円)

No	単位事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須町工芸作家による地域づくり事業		1,166,875	615,000	600,000	600,000	2,981,875
	うち市町支出額		882,278	465,000	500,000	0	1,847,278
	うち県交付金	0	441,139	232,500	0	0	673,639
2	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業		1,024,123	565,000	200,000	200,000	1,989,123
	うち市町支出額		1,000,000	465,000		0	1,465,000
	うち県交付金	0	500,000	232,500	0	0	732,500
3	だっばら駅前マルシェ		1,098,000	529,000	1,000,000	1,000,000	3,627,000
	うち市町支出額		1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
	うち県交付金	0	500,000	232,500	0	0	732,500
4	黒田原夏まつり		1,706,294	865,000	1,000,000	500,000	4,071,294
	うち市町支出額		1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
	うち県交付金	0	499,999	232,500	0	0	732,499
5	黒田原地区歴史文化啓蒙事業		881,940	665,000	50,000	50,000	1,646,940
	うち市町支出額		881,940	465,000		0	1,346,940
	うち県交付金	0	440,970	232,500	0	0	673,470
6	池田地区ひまわりプロジェクト		144,343	204,000	150,000	150,000	648,343
	うち市町支出額		144,343	204,000		0	348,343
	うち県交付金	0	72,171	102,000	0	0	174,171
7	高久地区歴史めぐりと自然散策事業		937,707	487,000	522,000	22,000	1,968,707
	うち市町支出額		937,707	465,000	500,000	0	1,902,707
	うち県交付金	0	468,853	232,500	0	0	701,353
8	那須高原芸術祭		1,564,017	560,000	700,000	700,000	3,524,017
	うち市町支出額		1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
	うち県交付金	0	499,999	232,500	0	0	732,499
9	あかりキッチン	200,600	945,725	1,015,310	510,000	510,000	3,181,635
	うち市町支出額	116,600	500,000	465,000	0	0	1,081,600
	うち県交付金	58,300	250,000	232,500	0	0	540,800
10	「那須・地ビール祭り2018」		2,945,032	2,565,000	2,600,000	2,600,000	10,710,032
	うち市町支出額		500,000	465,000	0	0	965,000
	うち県交付金	0	250,000	232,500	0	0	482,500
11	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業	602,207	637,386	595,281	43,200	43,200	1,921,274
	うち市町支出額	488,497	500,000	465,000	0	0	1,453,497
	うち県交付金	244,248	250,000	232,500	0	0	726,748
12	障がい者アートを活用した地域づくり	1,640,765	1,098,557	690,000	240,000	240,000	3,909,322
	うち市町支出額	998,760	498,816	465,000	0	0	1,962,576
	うち県交付金	499,380	249,408	232,500	0	0	981,288
13	ホテルの里づくり事業	65,141	105,413	80,000	30,000	30,000	310,554
	うち市町支出額	65,000	105,413	80,000	0	0	250,413
	うち県交付金	32,500	52,706	40,000	0	0	125,206
14	ミツマタ群生地周辺整備事業	527,989	499,429	465,000	30,000	30,000	1,552,418
	うち市町支出額	527,989	499,429	465,000	0	0	1,492,418
	うち県交付金	263,994	249,714	232,500	0	0	746,208
15	大島ふれあい田んぼアートづくり事業	922,998	796,384	578,000	200,000	200,000	2,697,382
	うち市町支出額	922,998	351,440	378,000	0	0	1,652,438
	うち県交付金	461,499	175,720	189,000	0	0	826,219
16	芦野根古屋地区景観整備事業	0	0	1,130,000	600,000	700,000	2,430,000
	うち市町支出額	0	0	930,000	0	0	930,000
	うち県交付金	0	0	465,000	0	0	465,000
17	インターネットラジオ放送局「だっばらラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業	0	0	1,430,000	1,500,000	2,000,000	4,930,000
	うち市町支出額	0	0	930,000	500,000	500,000	1,930,000
	うち県交付金	0	0	465,000	0	0	465,000
18	高齢者の生きがいづくりとお出かけ支援事業	0	0	933,000	460,000	100,000	1,493,000
	うち市町支出額	0	0	883,000	430,000	0	1,313,000
	うち県交付金	0	0	441,500	0	0	441,500
19	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興	2,664,959	562,423	0	0	0	3,227,382
	うち市町支出額	1,000,000	500,000	0	0	0	1,500,000
	うち県交付金	500,000	249,999	0	0	0	749,999
20	那須の伝説「第16回那須九尾まつり」	9,584,168	9,204,112	6,500,000	5,000,000	5,000,000	35,288,280
	うち市町支出額	7,000,000	8,000,000	5,000,000	0	0	20,000,000
	うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	0	0	3,000,000
21	黒田原中心街賑わい創生事業	266,799	0	0	0	0	266,799
	うち市町支出額	266,799	0	0	0	0	266,799
	うち県交付金	133,399	0	0	0	0	133,399
22	高久地区美観形成事業	119,761	0	0	0	0	119,761
	うち市町支出額	119,761	0	0	0	0	119,761
	うち県交付金	59,880	0	0	0	0	59,880
23	田中地区地域交流促進事業(田中地区地域文化保全振興交流事業)	57,216	25,548	60,000	0	0	142,764
	うち市町支出額	57,216	25,548	0	0	0	82,764
	うち県交付金	28,608	0	0	0	0	28,608
24	寄居地区魅力拡大事業(寄居地区地域交流事業)	150,779	55,683	60,000	0	0	266,462
	うち市町支出額	150,779	55,683	0	0	0	206,462
	うち県交付金	75,389	0	0	0	0	75,389
市町計	総事業費	16,803,382	25,398,991	20,591,591	15,435,200	14,675,200	92,904,364
	うち市町支出額	11,714,399	18,382,597	13,985,000	3,430,000	500,000	48,011,996
	うち県交付金	3,857,197	6,650,678	4,492,500	0	0	15,000,375

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須町工芸作家による地域づくり事業
事業主体の名称	那須町文化活動委員会
代表者の名称	牛渡 洋
事業主体の所在	那須町大字高久甲2888-32
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域住民と連携して那須町の地域づくりに寄与すること</li> <li>・設立年月日:平成28年12月15日</li> <li>・構成員等:芸術家及び工芸家等の指導者</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町には多くの有能な芸術家、工芸家が多く居住しているが、県内外の人々がその作品や芸術体験に触れる場の整備がなされておらず、那須の自然の中で芸術体験をしたいと考えている人への情報発信も不足している状況にある。そのため、体験型観光客の新規掘り起しができていないことが課題である。</p>
事業目的	<p>那須教育旅行誘致協議会などの関係団体と提携し、絵画、工芸、書道、華道などの体験教室、芸術祭、収穫祭などを開催するとともに、那須町に来訪することでしかできない芸術体験を積極的に情報発信する。 また、那須に居住する素晴らしい芸術家、工芸家を効果的に活用して県内外から体験型観光客を集客し、文化交流人口を増加させると同時に地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>① 体験教室の開催 目的:那須に来訪することでしかできない芸術体験を提供する。 場所:那須町内の民間、公共施設 開催日:随時(要予約)</p> <p>② 芸術祭の開催 目的:那須地区の芸術家、工芸家の作品を展示し、文化交流人口の増加を図る。 場所:那須町内の民間、公共施設 開催日:4月、10月、11月(工芸作家、芸術作家 23名×3回)</p> <p>③ 収穫祭の開催 目的:農協等と連携し、地域の農産物と地域の芸術作品を同時にPRする。 場所:那須町内の民間、公共施設 開催日:11月(農産物出展者 5名、工芸作家 23名)</p> <p>④ 情報の発信 目的:那須に来訪することでしかできない芸術体験の情報を積極的に発信する。 方法:ホームページ・広告・新聞折込・ポスター 期間:随時</p> <p>⑤ 関係団体との連携 目的:体験型観光客を滞在型観光客へとつなげるため、関連団体と連携する。 関係団体:那須野農協、那須町観光協会、那須町商工会、那須教育旅行誘致協議会 など 方法:宿泊業者への斡旋、芸術祭や収穫祭への参加協力 など 期間:随時</p> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略 【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大 【KPI】観光客入込数 4,847,795人(H29実績) → 5,400,000人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携	①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携		①体験教室の開催 ②芸術祭の開催 ③収穫祭の開催 ④情報の発信 ⑤関係団体との連携
事業費	1,166,875	615,000	600,000	2,381,875	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	882,278	465,000	500,000	1,847,278	
うち県交付金	441,139	232,500	250,000	923,639	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	284,597	150,000	100,000	534,597	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業
事業主体の名称	黒田原活性化プロジェクト
代表者の名称	渡邊 陽裕
事業主体の所在	那須町大字寺子丙4-55
事業主体の概要	・団体の目的:町民主体の活動により、地域の課題解決を实践、黒田原エリアを軸とした那須町の地域振興に寄与すること ・設立年月日:平成29年1月21日 ・構成員等:事業の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者
当該事業に係る地域の現状と課題	現在、黒田原地域は人通りの少ないシャッター商店街となっている。年に数回、祭り等の催事も開催し、ポイントでの集客はできているものの、その集客数も年々減少傾向にある模様。また、継続したにぎわいの創出には至っていない。そこにはアクセスの悪さ、観光先の少なさなど多くの要因があるが「知られていない」ことが最大の理由である。にぎわいを創出するためには、まずは地域知名度の向上・魅力発信が課題である。
事業目的	・黒田原を中心に、那須町の知名度向上、魅力発信、ファンの獲得を図る。 ・黒田原商店街に人を呼び込み、にぎわいの創出、活性化を図る。
事業概要	【平成30年度】 黒田原のマスコットキャラクター「クロロとゆめな」を活用し、2017年度から継続して下記の事業を行う。 ①2017年度制作のラッピングカー及び告知物による魅力発信事業 開催日時:4/1～3月31日 開催場所:那須町内イベント会場等 目的:昨年制作した「クロロとゆめな」のラッピングカー及び告知物を活用し、町のPRを継続実施する。ラッピングカーの制作はメディアにも取り上げられ、注目度も高かった。並行して制作した告知物も有効活用し、国内外で行われる各イベント会場にて継続してキャラクター及び町の魅力を発信する。 ②ポスター・チラシ等によるPR事業 配付開始:6月頃から 目的:キャラクターポスター・チラシ等、告知宣伝に係るものを制作し、町内及び周辺地域をはじめ、キャラクターの遠征先等での配布・掲示等を行い、地域のPR及びファンづくりを実施する。 ③LINEスタンプ制作によるPR・集客事業 開始時期:6月頃制作開始 目的:7,000万人以上の利用者を誇るインフラの一部となっているLINEで使用できるキャラクタースタンプを制作する。現状は、クロロ単体のものしかない状況で以前より制作要望があったスタンプを制作しSNSで拡散することにより、上記チラシやポスター等と合わせ、PRの相乗効果を期待できる。 【平成31年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、黒田原地区の活性化に寄与する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標1】「那須」の魅力を最大限に活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング 184位(H26) → 100位以内(H31)【H28実績184位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①短編映画PR ②ラッピングカーPR ③ポスター・チラシ等PR	①ラッピングカーPR ②ポスター・チラシ等PR ③LINEスタンプ制作			①短編映画PR ②ラッピングカーPR ③ポスター・チラシ等PR
事業費	1,024,123	565,000		1,589,123	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000		1,465,000	
うち県交付金	500,000	232,500		732,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	24,123	100,000	0	124,123	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	だっばら駅前マルシェ
事業主体の名称	だっばら駅前マルシェ
代表者の名称	渡辺 陽一
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目指す</li> <li>・設立年月日:平成28年12月19日</li> <li>・構成員等:正会員は、この会の目的に賛同し入会した者及びマルシェ出店者とする</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>かつての黒田原駅前地区は、町の中心地として賑わっていたが、現在の駅前通りには営業している店舗がほとんどなく、シャッター通りとなって長い年月が経過してきた。</p> <p>また、農業を筆頭に観光商工業も衰退の一途を進み、担い手の減少や高齢化が進んでいる。地域農業を支える担い手の確保・育成、さらに、農商工連携が遅れているため、「食」を通してつながり合える地域づくりが必要となっている。</p> <p>また、農畜産物や商工業は零細事業者が多いため、広報や情報発信が貧弱なことが課題である。</p>
事業目的	埋もれている農畜産物やその加工飲食物、生産者の顔や経営指針をマルシェで披露することで、売上の向上と後継者増加を図る。また、農業や商工業者の交流と連携で新たな価値を創造し、地域担い手の人材育成を行う。さらに、東北線の駅前を活かしてDCと連動させ、観光振興を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】平成29年にスタートした「プレミアム フライデー」に便乗し、平成30年5月25日より、毎月末金曜日夕方に食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目的とし、JR東北線とその駅の強みを活かした「だっばら駅前マルシェ」を開催する。黒田原駅前の空き店舗を活用した「那須珈琲 カフェ ラ デイトツ」の店舗と隣の空き地を中心にマルシェを開催し、農家や商工業者に出店交流及び営業販促する場を提供する。なお、平成29年より開始するJRのDCにアピールすることで、目的達成と集客につなげる。</p> <p>①「だっばら駅前マルシェ」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 毎月末金曜日夕方～</li> <li>・開催場所 黒田原駅前のカフェ、空き地</li> <li>・出店者 農畜産物生産者、飲食店、食器などの食関連の商工業者</li> <li>・内容 農畜産物、飲食品、商工業品</li> <li>・特集 狭い空間とイベント性での集客が必要なため、月ごとにテーマや出店者を変えて実施する。</li> </ul> <p>【平成31年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化</p> <p>【KPI】農畜産物生産額 94億円(H26) → 113億円(H31)【H29は算出していないため実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	だっばら駅前マルシェの開催	だっばら駅前マルシェの開催	だっばら駅前マルシェの開催		だっばら駅前マルシェの開催
事業費	1,098,000	529,000	1,000,000	2,627,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	
うち県交付金	500,000	232,500	250,000	982,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	98,000	64,000	500,000	662,000	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原夏まつり
事業主体の名称	黒田原夏祭り実行委員会
代表者の名称	大島 寛樹
事業主体の所在	那須町大字寺子丙1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:会は黒田原夏まつりを推進(企画・実行)し、黒田原地区の経済・文化の向上に寄与することを第一の目的とし、定住移住の推進にも寄与する</li> <li>・設立年月日:平成26年6月1日</li> <li>・構成員等:会員は団体の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者によって構成する</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>黒田原地区は那須町役場、JR黒田原駅がある那須町の中心部である。特に駅前には、かつて商店が立ち並び多くの人が行き交う賑やかな場所であったが、現在は地方経済の衰退、少子高齢化による人口減少、若者の流出や後継者難等により商店街、事業所の衰退を招いている。</p> <p>いかに一人ひとりが黒田原に誇りと愛着をもつことができるか、及び若者に伝統を継承していけるかが今後の課題である。そのため、どのように取り組みを実施するかが重要である。</p> <p>具体的には、那須高校生などの若い人たちに当日の祭への参加だけでなく、計画段階から取り組ませることで、より地域への興味を持たせることに取り組む必要がある。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区住民のコミュニティを図ること</li> <li>2. 祭を開催することで黒田原の活性化を図ること</li> <li>3. 同時開催される八雲神社のお神輿と連携することで、伝統文化を体現し黒田原地区の魅力を引き起こすこと</li> <li>4. 若い人に参加を促し伝統文化の継承と若者の定住化促進に繋げること</li> </ol>
事業概要	<p>平成30年度 「黒田原夏まつり」の開催</p> <p>(開催日) 7月末の土曜日</p> <p>(参加人数) まつりへの人出 2,000人を見込む</p> <p>(開催場所) 黒田原駅前通り</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民(那須高校生を含む)による出店</li> <li>・各種イベント(路上ライブ、チアダンス、キッズダンス)</li> <li>・同時開催の八雲神社のお神輿には那須高校生や黒田原地区の事業者等の参加を促す事で若者の定住化を図る。</li> <li>・浴衣での参加を促す。</li> <li>・提灯練等の飾り付けや会場設営を工夫しながら黒田原独自の伝統を目指す。</li> <li>・地域コミュニティの活性化のために定期的に実行委員会を開催する。</li> <li>・夏まつりの魅力を発信するために、チラシ、フェイスブック等通じてPRする。</li> <li>・那須高校生には祭のアイデア発表会をまちづくりセンター等で実施し若い人を巻き込む。</li> <li>・小学校、中学校、高校へ竹飾りの制作を依頼する。</li> </ul> <p>平成31年度以降 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施		黒田原夏まつりの実施
事業費	1,706,294	865,000	1,000,000	3,571,294	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	706,295	400,000	500,000	1,606,294	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原地区歴史文化啓蒙事業
事業主体の名称	黒田原地区地域づくり委員会
代表者の名称	本澤栄春
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成21年1月28日</li> <li>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	黒田原地区は、黒田原駅の開業と山田農場の開墾事業と共に発展してきた。地域内には、郷土の歴史を知るための文化財や名所が数多くあり、委員会では、これらの文化財や名所に案内看板を設置するなどの整備や、地域を知るための学習会を進めてきたところ、地域を案内するボランティアが育ち、郷土の歴史・文化を知ることができた。しかし、まだ、学習する機会が少なく黒田原の歴史・文化についての共通理解や、地域の魅力を再認識するまでには至っていない。今後は、さらに郷土を知り、見つめ直すことで郷土への誇りを持ち、郷土愛を育んでいくことが課題となる。
事業目的	<p>①黒田原駅開業後125年の時を経て街並みを営々として築いてきた先人の苦労や心意気、生き様を、当時の写真を見せることで知ってもらい、郷土愛を呼び起こすと共に郷土愛を醸成する。</p> <p>②当該地域は黒田原駅開業前から人々の暮らし(営み)が続いていた。その歴史の数々を探り、映像にした歴史物語作品を地域内での上映会開催を多くして地域民の多数参加を促し、賑わいの再生を図ると共に地域理解の深化を図る。また、小中学校との連携を密にし、上映会の開催を通じて啓発活動を実施して、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①写真集の配布(黒田原地区の歴史遺産の写真集) 目的:郷土愛の醸成 配布先:町、関係機関、小中学校等 部数:50部 活用方法:写真集とDVD映画と併用した啓蒙活動を実施</p> <p>②写真集の廉価版作成 目的:価格の低廉化を図り、地域住民へ頒布を拡大して黒田原地区の歴史遺産の啓蒙を図る。</p> <p>③DVD映画の作成 目的:駅開業以前からの歴史を映像に再現して地域の人々の啓蒙を図る為、地域おこし協力隊をはじめ、関係すると思われる諸団体と関係を取りながらシナリオを作成する。 配布先:町、関係機関(幼稚園、保育所、小中学校については出向いて上映会を開催しながら啓蒙活動を行う) 部数:10本</p> <p>【平成31年度以降】 写真集、DVD映画を活用した啓蒙活動を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①写真集作成 ②DVD映画 作成 ③交流会開催	①写真集配布 ②低廉版写真集作成 ③DVD映画の作成			写真集DVD映画を活用 した啓蒙活動
事業費	881,940	665,000		1,546,940	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	881,940	465,000		1,346,940	
うち県交付金	440,970	232,500		673,470	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	200,000	0	200,000	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	池田地区ひまわりプロジェクト
事業主体の名称	池田地区地域づくり委員会
代表者の名称	井上 光成
事業主体の所在	那須町大字高久丙1680-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 地域の人人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日: 平成20年11月26日</li> <li>・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>広谷地から池田の交差点の間に位置する「池田地区」はホテルもあり近年、観光客も増加している。地域づくり委員会としても、景観の魅力アップに努め「那須ヒオウギアヤメ」の保護、「お富士山」の整備等を行ってきた。しかしながら、「那須ヒオウギアヤメ」の植栽場所付近の休耕田では、観光協会が花の植栽をしていたが、予算、人手不足から園地の手入れが滞りがちとなっている。</p> <p>「那須ヒオウギアヤメ」はシーズンには写真を撮るなど立ち寄る人も増えてきているため、この休耕田に「ひまわり」を植栽し、付近一帯の景観を維持し魅力ある観光資源としてPRしていく必要がある。</p>
事業目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>①園地を借り受けて「ひまわりの植栽」を行い、春の「アヤメ」夏の「ひまわり」と連続した鑑賞可能な景観を作る観光資源とする。</li> <li>② 地域の子育て会、中学校、住民との共同作業を実施することで地域の交流を深める。</li> <li>③ ひまわりの種まき～搾油に至る一連の作業を通じ、地域としての社会貢献出来るという自覚の醸成を図る。</li> </ol>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりの植栽 植栽場所: 一ツ樅地内の休耕田</li> <li>規模: 20アール</li> <li>園地の整地⇒除草剤散布⇒施肥⇒耕作⇒種子の手播き</li> <li>⇒除草⇒開花(花の鑑賞)⇒種子採取⇒乾燥⇒種子発送</li> <li>・地元住民で組織する池田地区地域づくり委員会のメンバーが実施する。</li> <li>・休耕田を活用し「ひまわり」植栽や「那須ヒオウギアヤメ」の保護活動を通じ、地区住民の交流とふれあいの場を作る。</li> <li>・種子の発送先: NPO法人シャローム</li> <li>福島県にあるNPO法人で「ひまわりプロジェクト」を実施している。</li> <li>「ひまわりプロジェクト」とは、各地から届いたひまわりの種を製品化し、広く障がい者支援に役立てる活動。</li> </ul> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施する。</li> <li>ひまわりの植栽</li> <li>規模: 30アールに拡大</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住みたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ひまわりの 植栽・採種	ひまわりの 植栽・採種	ひまわりの 植栽・採種		ひまわりの 植栽・採種
事業費	144,343	204,000	150,000	498,343	150,000
市町支出金 (ソフト事業分)	144,343	204,000		348,343	
うち県交付金	72,171	102,000	0	174,171	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	150,000	150,000	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業
事業主体の名称	高久地区地域づくり委員会
代表者の名称	相馬和至
事業主体の所在	那須町大字高久甲5175-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成21年1月29日</li> <li>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	高久地区は多くの史跡があり、里山・田畑などの自然も豊かな地区である。しかし、近年少子高齢化が進み、地域の各種イベントなどへの参加者も減少傾向にある。そのため、安全・安心な地域づくりは不可欠であり、希薄になりつつある地域住民間の交流・コミュニケーションの醸成が課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の史跡と里山・田畑を活用した歴史めぐりと自然散策ができる順路を整備し、散策会を実施する。地域の歴史や草花・野鳥などの自然の生き物に詳しい講師の指導による歴史めぐり、自然散策会に参加し、地区の歴史や資源を住民全体が深く知ることで地域への誇りと郷土愛の醸成を図る。</li> <li>・地域内の休耕田を活用した稲作(もち米)の栽培を地域住民と学童で行い、お互いに触れ合う機会を持つことで、希薄になりつつある地域住民の関係を改善する。また、子どもから大人まで住民間の交流・コミュニケーションを活発化することで、地域全体の安全・安心の質の向上を図り、住み良い地域づくりに貢献する。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①観察順路の整備 目的:イベント参加者の安全確保を目的とする観察順路の整備作業 内容:施設案内看板の準備、草花等の植栽、観察順路の整備(草刈り、倒木撤去等) 対象者:高久地区地域づくり委員会の会員 実施時期:5、8、11月予定</p> <p>②歴史めぐり、自然観察の実施 目的:地域住民間の交流・コミュニケーションを図り、さらに地域を知ることで郷土愛を醸成(自然観察:草花・野鳥・水辺の生き物などの観察) 内容:地区の歴史や草花・野鳥・水辺の生き物などに詳しい講師の解説を受けながら、歴史めぐり、自然観察会を実施 対象者:地域住民(学童から高齢者まで) 実施時期:8月、11月</p> <p>③休耕田の活用(もち米、古代米の栽培、餅つき大会へのもち米の提供) 目的:地域住民による共同作業を通して、地域住民間の交流・コミュニケーションを図り、住み良い地域づくりに貢献 内容:休耕田を借上げ、もち米を栽培、収穫したもち米は育成会へ提供し学童による餅つき大会を支援する。 対象者:地域住民(学童から高齢者まで) 実施時期:田植え:4~6月 古代米稲刈り:8、10月 もち米刈取り:11月</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>①観察順路、田んぼの整備 ②史跡めぐり、自然散策会の実施 ③休耕田の活用(もち米の栽培、育成会による餅つき大会へのもち米の提供)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用	①観察順路の整備 ②史跡めぐり、自然観察 ③休耕田の活用	①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用		①歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用
事業費	937,707	487,000	522,000	1,946,707	22,000
市町支出金 (ソフト事業分)	937,707	465,000	500,000	1,902,707	
うち県交付金	468,853	232,500	250,000	951,353	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	22,000	22,000	44,000	22,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須高原芸術祭
事業主体の名称	那須高原作家協会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<p>・団体の目的:本会を互いの作品の発表・情報交換・公開の場として大いに活用することにより地元アーティストを育成し、那須町のファンを獲得する。各団体、個人などからの依頼(書)公開及び募集。画廊、美術館、デパートなど個展、販売会の斡旋。</p> <p>・設立年月日:2001年4月12日</p> <p>・構成員等:宣言に同意し、作家又は志す者で町内在住者、又は町内に仕事場を持つ者。会員の推薦により委員会にて決議された者とする。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町における観光発信の中心となる高原エリアに芸術展示会場や音楽ホールが無いことにより、魅力的なアーティストの芸術発信の機会が十分に確保されていない。また、イベントを実施する際の2次交通が脆弱なことに加え、情報の発信方法も一方的になっているため、必要な情報が必要な方へ届いておらず、地元客や観光客を効果的に誘導できていない。</p> <p>さらに、町民が自由に発案するようなボトムアップイベントが発達していないため、学生や若手デザイナー、若手アーティストが活躍できる機会が少ない。町民主体のボトムアップイベントなどにより若手デザイナーや若手アーティストの活躍の場を増やし、那須町の新規ファンを獲得することが必要となっている。さらにリピーターになってもらうために必要な情報を提供できる環境を整備して新たな人の流れを起し、地域経済の活性化を図ることが課題となっている。</p>
事業目的	<p>効果的な情報発信や2次交通の強化による夜間イベントへの誘導や若年層観光客など新規分野での顧客獲得に加え、観光客を迎え入れるおもてなし人材の育成をすることにより、那須町に人を呼び込み地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>① 那須町在住アーティストによる展示会の実施 目的:地域芸術の情報発信による地域活性化 会期:2018年6月1日～6月30日 10:00～17:00(会期中無休) 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>② 他団体による展示会とのコラボレーション 目的:情報の共有及び情報発信の拡大 会期:2018年6月1日～6月30日 10:00～17:00(会期中無休) 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>③ ワークショップの開催 目的:地域住民、観光客との交流 会期:2018年6月1日～6月30日 5回 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 2階ギャラリー</p> <p>④ キャンドルナイトコンサートの開催 目的:芸術祭のPR及び情報発信の拡大 会期:2018年6月上旬予定 19:00～20:30 会場:サッポロビール那須工場森のビール園 1階レストラン</p> <p>⑤ おもてなし人材の育成 目的:アートによる地域づくりの取り組み 内容:他芸術祭の視察 他団体との勉強会など</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>① アーティストによる展示会の実施</p> <p>② 他団体による展示会とのコラボレーション</p> <p>③ ワークショップの開催</p> <p>④ おもてなし人材の育成</p> <p>⑤ 会のHPの整備</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H28年度実績 41人】</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ キャンドルナイトコンサート ⑤ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成		① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成
事業費	1,564,017	560,000	700,000	2,824,017	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	564,017	95,000	200,000	859,017	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	あかりキッチン
事業主体の名称	あかりキッチン
代表者の名称	川崎 ノブ子
事業主体の所在	那須町大字高久丙5375-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域社会における独居高齢者及び日中独居高齢者、また食事作りが不自由な高齢者世帯と食を通して交流し健康増進、改善を促進し、高齢者が笑顔をふやし、生きがいを見出すこと、これに高齢者の見守りもかねて行うこと。</p> <p>・設立年月日:平成28年7月1日</p> <p>・構成員等:那須町大島地区内に居住する町民</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>急速な高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や日中をひとり過ごす高齢者が増えてきている。寝たきりや認知症を予防し健康寿命を延ばすためにも、高齢者が他者と交流できる場が必要であるが、そのような場が少ない。</p> <p>さらに、高齢者は硬いものなどの食べにくい物を避け、栄養が偏る傾向がある。食事作りが不自由であったり外出困難な高齢者も増えている。健康の基本である食を通して、他者との交流の場を広げ、だれもが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるようにすることが課題となっている。</p> <p>また、大島地区の子どもが通う小学校近くに、放課後児童クラブをH28年中に建設した。夏休み等の長期休みも子どもの受け入れを行うが、学校給食が休みになるため、毎日の昼食作りは働く保護者には大きな負担になる。安心して快適な子育て環境を提供するためにも保護者の負担を軽減することが必要である。</p>
事業目的	<p>・高齢者とスタッフが共に調理し、食事を通じて交流を図ることで、高齢者への栄養指導を行い、健康状態を把握する。また、食を通して交流することにより、寝たきりや認知症を予防し健康寿命の延伸を図る。食事交流会に参加できない高齢者については、スタッフが見守りを兼ねて定期的な弁当宅配を行い、高齢者の日常生活の変化などを感知することで、高齢になっても、安心して住み続けられる地域になる。</p> <p>・小学校や放課後児童クラブと連携し、夏休み中の昼食づくりをすることで、働く保護者の負担を軽減し、安心して快適な子育て環境を提供する。また、食育活動を行うことで、地域の貴重な子ども達の健全な成長に貢献し、地域住民が栽培した野菜を使用する事で、地産地消を推進し、食を通じた地域づくりを図る。全体を通して安心・快適な子育て環境の提供につなげることができ、大島地区の定住促進にも寄与する。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①「食事交流会」の実施 内 容:一人暮らしの高齢者と他者との交流。栄養指導、日常生活の変化等の感知。 実 施 日:毎月30日 場 所:穂積公民館</p> <p>②「見守りを兼ねたお弁当宅配」の実施 内 容:食事作りが不自由または外出困難な高齢者を対象に見守りを兼ねて定期的な弁当宅配。 実施日:毎週火曜日</p> <p>③「放課後児童クラブの昼食づくり」 内 容:長期休み期間の昼食づくり 実施日:毎週水曜日</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年11度のアンケート調査のためH28実績なし】</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略 【基本的方向】出産・子育ての負担軽減 【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31)【H27年度実績1.44】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①食事交流会の実施 ②研修会への参加	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布	①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布 ③放課後児童クラブの 昼食提供		①食事交流会の実施 ②見守り弁当配布 ③放課後児童クラブの 昼食提供
事業費	200,600	945,725	1,015,310	2,161,635	510,000
市町支出金 (ソフト事業分)	116,600	500,000	465,000	1,081,600	
うち県交付金	58,300	250,000	232,500	540,800	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	84,000	445,725	550,310	1,080,035	510,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasulg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「那須・地ビール祭り2018」
事業主体の名称	「那須・地ビール祭り2018」実行委員会
代表者の名称	小山田 孝司
事業主体の所在	那須町大字高久甲3986
事業主体の概要	<p>・団体の目的:日本各地の地ビール醸造業者と共催し自然豊かなロイヤルグート那須と、那須のブランド力を高めるため農・商・観連携事業のイベントを開催し、地域の新たな魅力づくりにつなげる。また、地域の人々に潤いを還元する、イベントの開催日程を二日間とすることで、旅行者の潜在が長くなり(宿泊・観光・飲食)と地域の経済活動を活性化させていく。</p> <p>・設立年月日:2015年4月1日</p> <p>・構成員等:本会は当該区域内(那須町)に居住する人、及び事務所等を設置している人、及び那須を愛する人をもって構成する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の基幹産業は観光業(宿泊・テーマパーク等)である。しかしながら東日本大震災以降、観光客数は減少し、未だ震災前の数値に観光客数が回復していない。特に宿泊人数の伸びが弱い状況にある。</p> <p>こうした状況をうけ、宿泊客の増加を図り、那須地域を周遊させる仕組みを作ることにより、観光業の底上げをし、地域経済を活性化させていくことが必要となっている。</p>
事業目的	<p>関東近県の観光客をターゲットとしてテーマパークを観光して帰る那須の周遊コースを作り、観光産業の増売、活性化(宿泊・テーマパーク)を図る。</p> <p>また、那須町と共同開催し、地元食材(那須和牛)のPRを図る。</p> <p>さらに、外国語に対応したホームページでの情報発信、旅行会社への売り込みを行い、訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘致を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①那須・地ビール祭り2018の開催 日程:2018年9月1日(土)2日(日)2日間 場所:余笹川ふれあい公園 参加人数:目標8,000人</p> <p>②情報の発信 新聞折込:35,000部(那須町・那須塩原市・大田原・白河市) 一般配布:10,000部 ネット配信:ホームページ、フェイスブックでの周知</p> <p>③関連団体との連携 宿泊施設:地ビール祭り宿泊プランの販売(お得なビール前売りチケット券付き) 旅行会社:地ビール祭り満喫プランの販売(国内外向け)</p> <p>【平成31年度】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大</p> <p>【KPI】観光(宿泊・日帰り)総消費額 422億円(H26) → 482億円(H31)【H27年度実績439億円】</p> <p>【KPI】観光客入込数 4,707,029人(H26) → 5,400,000人(H31)【H27年度実績4,802,208人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①那須・地ビール祭り 2017の開催 ②情報発信 ③関連団体連携	①那須・地ビール祭り 2018の開催 ②情報発信 ③関連団体連携			①那須・地ビール祭り 2019の開催 ②情報発信 ③関連団体連携
事業費	2,945,032	2,565,000		5,510,032	2,600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	465,000		965,000	
うち県交付金	250,000	232,500		482,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,445,032	2,100,000	0	4,545,032	2,600,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業
事業主体の名称	傾聴と在宅支援のボランティア・のぼらん
代表者の名称	竹原 典子
事業主体の所在	那須町大字高久甲496-12
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 傾聴と在宅支援のボランティアを必要とする人たちのための活動を行う。</li> <li>・設立年月日: 平成25年4月1日</li> <li>・構成員等: 本会の目的に賛同し、原則として傾聴ボランティア養成講座または、傾聴研修会を修了した者で、本会のボランティア活動に参加する者(平成28年9月1日現在8名)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の高齢化率は、平成27年10月に県内ワースト2位(33.8%)となり、その後も上昇し、平成28年9月1日現在で35.1%となり、全国よりも20年早く高齢化が進み、それに伴う介護需要が急増している。特に、在宅介護を必要とする高齢者が増え、介護する家族等の負担感は大変厳しいものとなっている。介護する側は、介護の悩みを共有できる人がいない、あるいは家族の理解がないことで不安が募り、一方、介護を受ける側は、認知症で意思疎通がうまくできないなど、双方が心身ともに疲れ果てている状況となっており、地域福祉を支える基盤が揺らいでいる。そのため、地域の支え合いや交流の機能の維持し、住み慣れた地域でできる限り自分らしく暮らし続けられるように、いかにして地域コミュニティを支える人材を支援していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護をしている方などが、「傾聴」に関する技術を学ぶことで、他者への理解や介護の現場で活用してもらおう。</li> <li>・介護する方向士の悩みなどを共有する交流会を開催することにより、地域とのつながりを促進し、介護者の負担感を和らげる。</li> <li>・地域を支える人材を支援・育成することで、地域を支え合う仕組みをつくる。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①傾聴養成研修会の開催(基礎からスキルアップまで) 研修会は2年間、研修会で傾聴スキルを学んだボランティアと再受講の一般の方々には、復習とスキルアップのために学んでもらう。新たに学ぶ方には傾聴の意味やお話を聞き寄り添うスキルを学んでもらう。</p> <p>②講演会開催 演題:「穏やかな終い方～口から食べられなくなったらどうしますか～」 ・講演会《かいこ、さいご、そのこ》開催 『講演会』では、総合事業による社会の変化を理解していただき、人生の最終章の捉え方、終末期をどう生き、迎えるか、広く町民に向けて特別養護老人ホーム(東京)の医師に講演をいただく予定。 ※交付金対象外の事業としては、ケア(介護)する人たちのためのケアラズカフェ「野の花」を開催 ・『ケアラズカフェ野の花』では、家族を介護する人同志が、日頃の精神的緊張や疲れを互いに話し合い、寛げる場となるよう傾聴的に支えます。 ・1年目に『エンディングノート』を作ったためこれを携えて各地域に出向き、認知症について理解し人生の終末期について話しあう集いを進めた。そして、高齢化社会・多死社会の渦中を生きる町の高齢者やその家族と共に、その人らしく生き最期を迎えるための在り方や知識をともに話し合います。 ・訪問看護師、介護士による学習会の開催</p> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴と在宅支援ボランティアの継続</li> <li>・講演会の開催</li> <li>・雲の手帖(エンディングノート)を話す集い継続</li> <li>・ケアラズカフェ野の花継続</li> <li>・プロ・ヘルパーの智慧袋～家で暮らすために～冊子の作成準備</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年11度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会</li> <li>・エンディングノートの作成、配布</li> <li>・ケアラズカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会</li> <li>・講演会</li> <li>・エンディングノートを書きながら話す集い</li> <li>・ケアラズカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催</li> <li>・講演会の開催</li> <li>・ケアラズカフェの開催</li> <li>・学習会の開催</li> </ul>		
事業費	602,207	637,386	595,281	1,834,874	43,200
市町支出金 (ソフト事業分)	488,497	500,000	465,000	1,453,497	
うち県交付金	244,248	250,000	232,500	726,748	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	113,710	137,386	130,281	381,377	43,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	障がい者アートを活用した地域づくり
事業主体の名称	つながるひろがるアート展Nasu実行委員会
代表者の名称	伊藤 七男
事業主体の所在	那須町大字豊原乙1189
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:那須在住のハンディキャップのある作家たちが描いた絵画を通して芸術の素晴らしさを地域住民や観光客へ周知する。</li> <li>・設立年月日:平成20年4月1日</li> <li>・構成員等:「つながるひろがるアート展Nasu」の開催主旨に賛同し協力できる企業、団体、個人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須地域には、障がいがありながらも芸術的な才能を持った作家が多くいる。障がい者アートは魅力的な地域資源だが、住民や観光客は、障がい者アートに触れる機会がなく、鑑賞したことがない人が大勢おり、障がい者の芸術的な才能を知ることができない。また、那須地域の福祉施設等でも障がい者自身が絵を描いたり、鑑賞する機会が少ない。</p> <p>このため、幼い頃から障がい者アートに触れる機会を作り、多様な価値観や豊かな人間性を育む必要がある。また、作家達と交流することで偏見やいじめを無くしたり、障がい者アートが、より多くの人の目に止まる機会を増やすことが必要であり、いかにして、障がいの有無に関わらず人と人がつながり、それを広げていくか、さらに、アート活動を通じて障がい者が積極的に社会に参加、貢献できるようにしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者アート展、ワークショップ、カレンダーを通じて、那須地域の人のみならず那須を訪れる観光客も障がい者への理解を深めるきっかけをつくるとともに、障がい者自身の隠れた才能を発掘し、障がい者が積極的に社会に参加、貢献できる地域をつくる。</li> <li>・障がいの有無に関わらず、人と人とがつながり、それを広げていく地域づくりを目指すことで誰もが住みやすいまちを作る。</li> <li>・障がい者アートが魅力的な地域資源であることを認識してもらうことで、積極的な活用を図り、新たな人の流れをつくる。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①第10回つながるひろがるアート展Nasu開催(11月頃予定) 目的:障がい者アートに触れる機会の提供 対象者:那須地域の住民・観光客 場所:那須地域14展示会場(ホテル等)</p> <p>②つながるひろがるアート展の作品と音楽のコラボレーション(11月頃予定) 目的:作品のイメージに合わせた演奏をしてもらう。音楽イベントを通じて那須町在住の歌手と一緒にマ・メゾン光量太鼓教室メンバーとセッションを行い、那須地域や観光客に那須在住の歌手の魅力と障がい者の音楽的な才能を理解してもらう。 対象者:那須地域の住民 場所:マ・メゾン光量予定</p> <p>③ホームページ(つながるひろがるアート展)の作成(8月頃予定) 目的:ホームページを作成することにより、那須町の取り組みを知ってもらうとともに、作家の紹介や作品なども常時閲覧することで多くの人に人に関心を持ってもらう。 対象者:全国の障がい者アートに関心を持っている方々</p> <p>④カレンダーの制作・販売 目的:カレンダーの制作、販売することで新たなファンを増やし、つながるひろがるの趣旨を知ってもらい、販売資金で運営できるようにする。</p> <p>⑤展示会と展示協力 アーカーシャ-展など9展示会への展示協力</p> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略 【基本的方向】特色ある教育による成長の支援と教育の充実 【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31) 【H27年度実績 1.44】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③イラスト集、カレンダーの作成、配付	①障がい者アート展の開催及び関連イベントの開催 ②各団体主催のイベントへの出展 ③カレンダー配付	①障がい者アート展の開催 ②作品と音楽のコラボレーション ③ホームページの作成 ④カレンダー制作・販売		つながるひろがるアート展開催
事業費	1,640,765	1,098,557	690,000	3,429,322	240,000
市町支出金 (ソフト事業分)	998,760	498,816	465,000	1,962,576	
うち県交付金	499,380	249,408	232,500	981,288	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	642,005	599,741	225,000	1,466,746	240,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ホタルの里づくり事業
事業主体の名称	芦野地区地域づくり委員会
代表者の名称	田中良夫
事業主体の所在	那須町大字芦野1332
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成20年11月21日</li> <li>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町は、自然豊かなリゾート地として県内外から人気で、移住希望者も少なくはないが、芦野地区は那須の人気のエリアから離れており、若者の流出、高齢化が進み、将来的な地区機能の低下が懸念されてきた。また、町中心部から少し離れているという点は、ホタルが生息する自然環境をもたらしているが、住民にとってはホタルを観賞できることは当たり前で、魅力であることが認識されていない。</p> <p>そんな中、数年前、数十年前に比べホタルが観賞できる場所が少なくなってきたという声もあり、将来的にホタルまでが見られなくなってしまうことが懸念されている。そのため、いかにして住民自らが地域の魅力を認識し、ホタルの生息地を守りつつ、人を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタルが生息する環境を活かし、発展させ、「ホタルの里」をつくる。</li> <li>・住民自身に地域の魅力を認識してもらう。</li> <li>・芦野地区の魅力(「ホタルの里」)を外にPRし、移住定住を促す。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ホタル生息地の飛翔調査及び生息地の発掘により自然環境を守る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタル生息地環境調査及び飛翔調査 6月実施</li> </ul> </li> <li>② ホタル幼虫の飼育学習会及び観察会を開催することで飼育を試みる者を増やしホタルの保護に努める。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日:飼育学習会及び観察会(6月) 飼育学習会(11月、2月)</li> <li>・場所:芦野基幹集落センター及び芦野地区内ホタルの里</li> <li>・講師:ながわ水遊園 目野 透先生</li> </ul> </li> <li>③ 在来種ホタルの幼虫の飼育、放流及びびえさの飼育を目指すことでホタルの環境保護に努める。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタルの捕獲(6月)、産卵から幼虫飼育(7月~3月)</li> <li>・ホタル幼虫の餌(カワニナ・ヒメタニシ)の環境調査・整備</li> <li>・ホタル幼虫の餌の飼育によりホタルの増える環境づくり</li> </ul> </li> <li>④ ホタルの里をPRする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタルの保護・保全活動に努めていることを地域内にホタル広報紙を発行し豊かな自然環境の保全意識の醸成を図る。</li> <li>・「ホタルの里」として地域内外に情報を発信し、ホタルが飛翔している地域の自然環境をPRし、ホタル観光につなげる。</li> </ul> </li> </ol> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ホタルの目撃情報調査、飛翔調査 ②学習会を開催 ③生息地の清掃、整備	①環境調査、環境整備 ②ホタル飼育 ③鑑賞会を開催 ④飼育学習会を開催	①環境調査・飛翔調査 ②ホタル飼育学習会 ③ホタル観賞会 ④ホタルの餌飼育 ⑤ホタルの里のPR		①保護活動、環境整備 ②ホタルの里をPR
事業費	65,141	105,413	80,000	250,554	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	65,000	105,413	80,000	250,413	
うち県交付金	32,500	52,706	40,000	125,206	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	141	0		141	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業
事業主体の名称	伊王野地区地域づくり委員会
代表者の名称	伊藤弘
事業主体の所在	那須町大字伊王野1574
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成20年10月16日</li> <li>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員、地区住民 等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	伊王野地区は、地区内の自然を活かした観光を強みとし、住民も誇りに思っている。伊王野城山の一部の場所には、2月から5月頃にかけて黄色い花を咲かせる「ミツマタ」の群生地があるが、そこに向かう山道は非常に狭く、手入れがされていないため荒れており、また、伊王野地区を訪れる方のほとんどは、車を利用しているが、駐車場もないため、うまく誘客することができない。今後の課題としては、ミツマタ群生地へ続く道や駐車場を整備し、さらに、春になると桜や椿、ツツジの花が咲き誇る伊王野城山公園と併せて観光資源としていく必要がある。
事業目的	地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境や取付道の整備に携わることで地域資源を最大限活用し、地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成、郷土愛の醸成を図る。また、花の開花時期が重なる伊王野城山公園と併せてPRすることで、観光誘客の相乗効果を図り、交流人口を増加させることをねらう。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業の内容や作業についての打合せなど委員会を開催する。3回</li> <li>② 倒木処理や草刈り、植栽などの環境を整備する。</li> <li>③ 駐車場の整備を実施する。</li> <li>④ 舗装工事や型枠外しなど道路の整備を実施する。</li> <li>⑤ 階段の取り付けなど遊歩道の整備を実施する。</li> <li>⑥ ミツマタ群生地のPRを行う。</li> </ul> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①道路拡張整備 ②環境整備、植栽	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ③駐車場整備 ④U字溝設置 ⑤案内看板設置 ⑥道路整備	①委員会開催 ②環境整備、植栽 ③道路整備 ⑦遊歩道整備 ⑧ミツマタ群生地PR		①委員会開催 ②環境整備、植栽
事業費	527,989	499,429	465,000	1,492,418	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	527,989	499,429	465,000	1,492,418	
うち県交付金	263,994	249,714	232,500	746,208	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業
事業主体の名称	大島地区地域づくり委員会
代表者の名称	平山幸昭
事業主体の所在	那須町大字漆塚732
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成20年12月1日</li> <li>・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	大島地区では、地域住民が集う顔の場として、河川公園の整備や余笹川流域の環境保全等、地域内の整備に取り組んできたが、地域外との交流はなかった。そこで、河川公園等の維持管理や利活用のため、こどもからお年寄りまで世代を越えた地域住民が主体となる大島ふれあい祭りを開催し、地域住民の一体感を培ってきた。しかし、依然として住民の地域外への流出が続いており、今後どのようにして郷土愛を醸成するかが課題となっている。
事業目的	町民主体のイベントである「大島ふれあい祭り」に併せて、田んぼアート、地域のマスコットキャラクターを作り、田んぼアート開催とまつり開催日を同時期にすることにより、まつりをさらに盛り上げ、町民の地域に対する愛着と一体感の更なる醸成を図り、さらには町内外からの参加者・見学者が増加することで住民の自信につなげ、住民の町外流出を抑制する。 また、地域資源を活用するため、田んぼは休耕田を使用する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①田んぼアートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗作り、圃場整備、田植え、除草管理</li> <li>・環境整備(圃場周りの草刈り、観覧席の保守)</li> <li>・公開:9月~11月</li> <li>・大島ふれあい祭りと同時期に公開することで、来場者数をより多くすることを見込む。</li> <li>・米は食用ではないため、刈取り後業者に引き取ってもらう。</li> </ul> <p>②マスコットキャラクター「しまたん」が各催し物へ参加し、地域の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、県内外のイベントへ参加し、元気な大島地区をアピールする。</li> </ul> <p>③大島ふれあい祭りの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10月下旬~11月上旬</li> <li>・場所:上余笹橋河川敷公園</li> </ul> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①田んぼアート作り ②観覧場作成 ③環境整備 ④マスコットキャラクター作成、地区PR	①田んぼアート作り ②しまたん活動 ③ふれあい祭り開催	①田んぼアート作り ②しまたん活動 ③ふれあい祭り開催		①ふれあい祭り開催 ②しまたん活動
事業費	922,998	351,440	578,000	1,852,438	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	922,998	351,440	378,000	1,652,438	
うち県交付金	461,499	175,720	189,000	826,219	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	200,000	200,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	芦野根古屋地区景観整備事業(武家屋敷)
事業主体の名称	芦野地区地方創生協議会
代表者の名称	鈴木 友実
事業主体の所在	那須町大字芦野2726-5
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 芦野地区の経済活性化、交流拠点化、定住促進に係る諸事業を展開する基本組織となる。</p> <p>・設立年月日: 平成28年10月15日</p> <p>・構成員等: 芦野地区自治会連合会長、芦野の里づくり委員会、聖天花火大会実行委員長など芦野地区の人々</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芦野地区は城下町であり、宿場町でもあり、那須町で唯一江戸時代の面影が残る地であるが、現在高齢化が進んでいる。地区内の根古屋地区には、江戸時代芦野家家臣団の屋敷があったが、現在子孫は芦野を離れ、敷地や屋敷は放置され、荒れ果て往時の面影はない。後継者不足によって、保全・継承も困難となり、地域内外の交流も減少している。交流人口の増加を図るためには、この地域を観光地・芦野を代表すべきエリアとして存続させ、これまでの名所旧跡に加え、新たな歴史と文化の空間を作る必要がある。</p>
事業目的	<p>根古屋地区芦野家家臣の屋敷跡は景観が偲ばれる数少ない空間であり、これらの空間を磨き上げ、集客効果の上昇や郷土愛の醸成を図ることを目的とする。</p> <p>更に、屋敷跡周辺の御殿山を中心として散策コースを魅力的な景観へと導くことで観光客の滞在時間を延伸し、地区内の商業活動への波及効果を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①屋敷跡地の整備と生垣の形成(門及び構えの復元を含む)</p> <p>②景観に支障となる樹木等の除去と除草作業</p> <p>③遊歩道の整備(新町～根古屋の敷石の設置、根古屋～上野町の除草等)</p> <p>楊源寺一建中寺間の遊歩道を石畳みにすることで、江戸情緒を醸し出す散策ルートを設定する。 (周辺の武家屋敷・生垣等との景観形成)</p> <p>※既存ホームページ(もうひとつの那須 芦野)上で周知、PRを行う。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施しつつ、新たに板塀の設置を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①屋敷跡の整備 ②生垣の植栽 ③支障木の除去及び除草 ④遊歩道の整備	①板塀の設置 ②生垣の植栽	①高札場の復元		①支障木の除去及び除草
事業費	1,130,000	600,000	700,000	2,430,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	
うち県交付金	465,000	250,000	189,000	904,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	200,000	100,000	200,000	500,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	インターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業
事業主体の名称	黒田原放送協会
代表者の名称	山崎雅人
事業主体の所在	那須町大字寺子丙4-55
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:ローカルから全国へ向けた情報発信をインターネットラジオを主とするメディアの活用により那須町の地域振興に寄与すること。</li> <li>・設立年月日:平成30年1月1日</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	那須町には年間500万人もの観光客が訪れているが、那須町民の「生の声」を知ることが出来るインターネット上の情報インフラが整っていない状況であり、リアルタイムでの地元からの発信が少ないことに気づいた。また、インターネット上での地元向けの情報発信や地元住民が楽しめるコンテンツも少ない。これらのことから、観光客や町外者に対する多様な情報発信、地域の方に対するコンテンツ発信不足を解消するために活動を行う。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客や町外、県外の方への多様な情報発信を行い那須町の知名度向上と魅力発信、地域のファンを獲得する。</li> <li>・地域間の垣根を超えるインターネットをツールとし、幅広い年代の地域住民がパーソナリティーを務めることにより生まれる独自の目線や感性、情報を定期的に発信することで地元愛の醸成とにぎわいの創出を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>町内にあるインターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用し、ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業を行う。                  開催日時:4月1日～3月31日 開催場所:だっばラジオ(黒田原駅前)                  目的:現在は団体所属のパーソナリティーが、ほぼ毎日リアルタイムで番組放送を実施しているが、番組の知名度も低く放送機材やツールも貧弱である。番組の「宣伝、質、地域との連携」を強化することで、町内外の方がより楽しめるコンテンツを作り上げ、町のPRと集客、交流人口の増加に寄与する。</p> <p>①ラジオ番組告知宣伝の徹底                  町内外へのリアルタイムでの情報発信を行っているものの、本格的な宣伝活動は未実施であるため強化を図るため、チラシ、ポスター、看板、ポスター、PVの制作とインターネット広告の掲出、HP更新、新聞折込などを行う。</p> <p>②ラジオ番組の強化                  団体所属のパーソナリティーのクオリティーを上げるため、他ラジオ局の視察などの勉強会やオリジナルBGMの制作、ラジオではあるが映像もリアルタイムで放送しているため画面画質、放送機材の強化を行う。</p> <p>③地域との連携強化                  地域住民の方の番組出演者の増加とパーソナリティーとしての地域イベントの参加などと実施する。更には地域のインターネットリテラシー向上も必要と考えることからラジオ発信のイベントや勉強会を行う。</p> <p>④イベント開催                  年3回、イベントを開催する。                  ・パソコンやスマートフォンを活用したラジオの視聴方法講座                  ・ラジオ放送体験コーナーの日を設定                  ・視聴者との交流会の開催</p> <p>【平成31年度】                  前年度の実施状況を踏まえ継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略                  【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略                  【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】                  【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略                  【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業		ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業
事業費	1,430,000	1,500,000	2,000,000	4,930,000	2,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	
うち県交付金	465,000	250,000	250,000	965,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	500,000	1,000,000	1,500,000	3,000,000	2,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高齢者の生きがいがいづくりとお出かけ支援事業
事業主体の名称	那須高原クロスロード振興会
代表者の名称	北牧修平
事業主体の所在	那須町大字高久甲6334-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:那須地域の人々が地域のために力が必要であると考え、会員同士で運営し部会や勉強会を通じて地域に貢献し地域を豊かにすることを目指す。</li> <li>・設立年月日:平成14年10月1日</li> <li>・構成員等:活動内容に賛同する町内外の者</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	当地区のある那須町北部エリアは、高齢化、過疎化が進み、高齢者の健康維持及び地域コミュニティの希薄化が課題になっている。高齢者の健康維持には、「お出かけ」が重要であり、高齢者の生きがいがいづくりに大きく寄与する。しかし、「お出かけ」したくてもできない人がいる現状もあり、健康増進及び生きがいがいづくりという高齢者のニーズに適合した「お出かけ」支援が必要である。
事業目的	高齢者のお出かけ支援のニーズ調査の上、そのニーズを満たすために住民が主体となった助け合いによるお出かけ支援事業を展開し、高齢者の健康増進と生きがいがいづくりを醸成する。 また、事業を通じて世代間の交流を図り、住民の郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①学習会 開催時期:6~8月(3回) お出かけの重要性を学び、お出かけのためにはどのような支援が必要か参加者とともに考える学習会の開催。 講師:かながわ福祉移動サービスネットワークから講師を招く予定</p> <p>②お出かけ支援調査 開催時期:7~9月 お出かけ支援のために地域に何が必要かを調査する。特に不足しているものは何かを商店街等にヒヤリングする。</p> <p>③アンケート調査 開催時期:9月 どのような支援があればお出かけできるか不足しているものは何かなどについて地域住民を対象に調査を行う。</p> <p>④試験運行 開催時期:11月 調査の結果をもとに、お出かけに寄与する運行を地域住民を対象に試験的に実施する。</p> <p>⑤事業説明会 開催時期:1月 調査と試験運行の結果、お出かけ支援事業を立案し地域住民に説明し有識者とともに論議する。</p> <p>⑥リーフレット作成、PR お出かけ支援事業を広く地域住民に周知し、住民組織への参加を募る。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>①効果測定 ②学習会 ③平成30年度策定の事業計画に基づいた事業の開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H28年度実績 41人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH28実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①学習会 ②お出かけ支援調査 ③アンケート調査 ④試験運行 ⑤事業説明会 ⑥リーフレットPR	①効果測定 ②学習会 ③2018年度策定の事業計画に基づいた事業			①2018年度策定の事業計画に基づいた事業
事業費	933,000	460,000		1,393,000	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	883,000	430,000		1,313,000	
うち県交付金	441,500	215,000		656,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	50,000	30,000	0	80,000	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp